

# 事務事業分析シート（令和元年度）

No1

事務事業コード	05-04-01	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	ゆいの森あらかわ事務管理費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	小林			
		担当者名	榊	内線	2256			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（元年度）	01-02-01	事務管理費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 元年度 <input type="radio"/> 30年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	28	年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	ゆいの森あらかわの適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、魅力的かつ快適で安心・安全なサービスの充実を図る。							
対象者等	ゆいの森あらかわ利用者							
内容	【開 設】平成29年3月26日 【所 在 地】荒川区荒川2-50-1 【土地面積】4,111㎡ 【述床面積】10,944㎡ 【構 造】鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 【開館時間】午前9時30分～午後8時30分 【主な事業】中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろば等							
経過	平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成22年 3月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会報告書 平成23年 7月 （仮称）あらかわ二丁目複合施設基本計画策定 平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定 10月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本設計及び展示基本設計完了 平成26年 3月 （仮称）荒川二丁目複合施設実施設計完了 10月 複合施設の建設工事着工 平成27年 2月 愛称名を「ゆいの森あらかわ」に決定、プロポーザルによりカフェ運営事業者決定 平成28年 1月 ロゴマークの決定 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 平成29年 1月 竣工 3月26日 開館 平成30年 3月 テーブル・座席の増設、館内サインの追加製作							
必要性	ゆいの森あらかわの運営により、荒川地区はもとより、区内全体の知とコミュニティの醸成を図るため、世代や地域、目的が違う人々が集い、交流と経験を通して、知の集積や発信、新たな知的文化活動の誘発や企画が生まれる施設の必要性は高い。							
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 一部委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 設備維持管理業務委託・夜間総合受付・清掃・警備・植栽管理業務等を委託							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			28年度	29年度	30年度	元年度見込み		目標値(8年度)
	①	入館者数	15,991	690,094	707,295	721,000	758,000	ゆいの森あらかわ入館者数
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
元年度	2年度							
推進	推進	安全・安心で快適な施設運営と設備の適正な維持管理を図っていく。						

予算・決算額等の推移	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
予算額			-	-	181,750	178,057	177,979
決算額(元年度は見込み)			-	-	147,982	162,882	177,979
実績の推移	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
事項名(元年度は見込み)							
修繕件数	0	0	0	0	3	14	20

予算・決算の内訳								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
旅費	近接地内外旅費	368	旅費	近接地内外旅費	203	報償費	運営アドバイザー謝礼	260
需用費	光熱水費・食糧費・一般需用費	45,350	需用費	光熱水費・食糧費・一般需用費	46,289	旅費	近接地内外旅費	454
役務費	電話・郵便・手数料等	6,495	役務費	電話・郵便・手数料等	6,707	需用費	光熱水費・食糧費・一般需用費	57,071
委託料	施設管理に係る業務委託等	89,925	委託料	施設管理に係る業務委託等	107,924	役務費	電話・郵便・手数料等	8,020
使用料等	トイレ衛生装置・AED賃貸借等	535	使用料等	トイレ衛生装置・AED賃貸借等	982	委託料	施設管理に係る業務委託等	110,433
工事請負費	書架棚照明増設	2,563	備品購入費	施設に係る備品購入	724	使用料等	トイレ衛生装置・AED賃貸借等	1,041
備品購入費	家具什器購入費	2,746	その他	報償費・補償補填及び賠償金	53	備品購入費	家具什器購入費	700

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	29年度	30年度	差額	29年度		30年度	差額		
行政費用	給与関係費	27,215	22,073	▲ 5,142	地方税	0	0	0	
	物件費	144,892	161,583	16,691	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	527	1,246	719	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	53	53	使用料及び手数料	5,053	5,320	267	
	減価償却費	256,012	256,184	172	その他	2,362	3,170	808	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	7,415	8,490	1,075	
	賞与・退職給与引当金繰入額	8,192	3,515	▲ 4,677	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 429,423	▲ 436,164	▲ 6,741	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 11,510	▲ 11,866	▲ 356	
	行政費用合計(b)	436,838	444,654	7,816	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 440,933	▲ 448,030	▲ 7,097	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 440,933	▲ 448,030	▲ 7,097		

備考 行政費用では、給与関係費が減少した一方、物件費・維持修理費が増加した。これは、施設管理に関わる委託料及び建物修繕に関わる費用が前年度に比べ増加したためである。また、行政収入では、駐車場利用者使用料が増加した。

問題点・課題  
 ・利用者が安心・安全な施設の運営を実施する。  
 ・快適な環境づくりを図るとともに、設備の適正な維持管理を行う。

問題点・課題の改善策

	平成30年度に取り組む具体的な改善内容	平成30年度に実施した改善内容および評価	令和元年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	利用者にとって安心・安全で快適な施設運営と設備の適正な維持管理を行う。	利用者が安全に施設を利用できるよう、施設の点検及び修繕を行うとともに、閲覧スペースの拡充を図った。	引き続き利用者にとって安心・安全で快適な施設運営を実施する。
②			
③			

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
	図書館、文学館、子どものための施設が融合した、これまでにない新しいコンセプトの施設である。

議会(要旨)の要旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度 6月会議 成果と今後の方向性について</li> <li>平成28年度 決特 ゆいの森あらかわの周知について</li> <li>平成29年度 決特 サインの見直しについて</li> <li>平成29年度 決特 カフェの運営について</li> <li>平成29年度 予特 適切な施設管理について</li> </ul>
-----------	--

# 事務事業分析シート（令和元年度）

No1

事務事業コード	05-04-02	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	ゆいの森あらかわ事業運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	小林			
		担当者名	榊	内線	2256			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（元年度）	01-03-01	ゆいの森あらかわ事業運営費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 元年度 <input type="checkbox"/> 30年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和	28年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例				
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	生涯学習や地域コミュニティの拠点となるよう、「ゆいの森あらかわ」の図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろばの3つの機能が有機的に融合した事業のほか、関連する機関と連携した事業及びボランティア活動の支援を展開する。							
対象者等	区民及び施設利用者							
内容	<p>【施設機能等連携イベント】 図書館、文学館、子ども施設の各機能が連携した講演会やイベント等を開催。</p> <p>【地域活動支援】 地域コミュニティの拠点として、他機関との連携を図りながら、地域住民の活動やボランティア活動を支援する。</p> <p>【他機関協働事業】 他部署や他機関と連携し、区民の方が施設に足を運ぶきっかけとなる幅広い事業展開を行う。</p>							
経過	<p>平成22年 3月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会報告書</p> <p>平成23年 7月（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定</p> <p>平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定</p> <p>平成28年 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 12月 学びラウンジボランティア開始</p> <p>平成29年 3月26日 開館 4月～5月 開館記念イベント開催</p> <p>8月 区内事業者と連携した企画展及びアニメ上映会開催</p> <p>平成30年 1月 新春舞踊ショー・昭和写真展開催（～3月）</p> <p>3月 開館1周年記念イベント（逢坂剛氏講演会等）</p> <p>7月 プラモデルと原画展及びプラモデル製作ワークショップの開催</p> <p>8月 来館者100万人達成イベント</p> <p>令和元年 5月 来館者150万人達成</p>							
必要性	地域活動への参加や多様な体験や学習のきっかけとして事業を展開する必要がある。							
実施方法	（1直営）（直営の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			28年度	29年度	30年度	元年度見込み		目標値(8年度)
	①	事業開催数（回）	2	332	492	500	500	ゆいの森で実施した事業数
	②	ボランティア活動者数	20	87	93	100	150	ゆいの森課のボランティア全体（図書館ボランティア含む）
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
元年度	2年度							
重点的に推進	重点的に推進	地域コミュニティ及び文化推進の新たな拠点として、三つの機能の融合施設であることを生かした、様々な事業を実施するとともに、新たな文化活動を企画・発信していく。						

予算・決算額等の推移		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
予算額				-	-	10,036	8,505	7,634
決算額（元年度は見込み）				-	-	4,395	5,336	7,634
実績の推移		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
事業開催数（回）					2	332	492	500
ボランティア活動者数					20	87	91	100
予算・決算の内訳		平成29年度（決算）			平成30年度（決算）		令和元年度（予算）	
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	イベント講師謝礼	586	報償費	イベント講師謝礼	1,062	報償費	イベント講師謝礼	1,793
需用費	消耗品費・印刷費	444	需用費	消耗品費・印刷費	852	需用費	消耗品費・印刷費	890
役務費	展示運搬・展示保険料	414	役務費	行事保険	29	役務費	展示運搬・展示保険料	1,183
委託料	企画展示制作等	2,601	委託料	企画展・グッズ制作等	3,393	委託料	企画展示制作等	3,768
負担金	シンポジウム共催	350						

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		29年度	30年度	差額	行政収入	勘定科目		29年度	30年度	差額
	給与関係費		9,385	7,045	▲ 2,340		地方税		0	0	0
物件費		3,412	4,245	833	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		982	1,091	109	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		1,003	479	▲ 524		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		1,003	479	▲ 524		
賞与・退職給与引当金繰入額		2,825	1,122	▲ 1,703	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 15,601	▲ 13,024	2,577		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		16,604	13,503	▲ 3,101	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 15,601	▲ 13,024	2,577		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 15,601	▲ 13,024	2,577		

備考 行政費用では、給与関係費が減少した一方、物件費・補助費が増加した。これは、イベント等の開催の増加により、報償費及び事務費が増えたためである。行政収入では、グッズの売り上げが減少したことにより、収入が減っている。

- 問題点・課題
- ・関係所管と連携した多様な事業展開を行い、魅力ある事業運営を行う必要がある。
  - ・ボランティア活動の内容を充実させ、より参加しやすい枠組みを検討する必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	平成30年度に取り組む具体的な改善内容	平成30年度に実施した改善内容および評価	令和元年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	多くの関係所管と連携し、来館者にとって魅力ある事業運営を行う。	他部署と連携したイベントを多数実施した。	引き続き各所管と連携し、利用者にとって魅力あるイベントを実施する。
②	イベント・事業の支援を行うための講座等を実施し、ゆいの森で活動するボランティアの育成を行う。	園芸ボランティア及び学びラウンジボランティアの活動を実施した。	引き続きコミュニティの核となるようなボランティア活動を支援する。
③			

他区の実況 (実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)

議会要旨	平成28年度 予特	ボランティアについて
	平成28年度 予特	オープニングイベント等について
	平成28年度 決特	ボランティアの活用について
	平成29年度 決特	事業者と連携したイベントの実施について
	平成29年度 予特	魅力あるイベントについて



# 事務事業分析シート（令和元年度）

No1

事務事業コード	05-04-03	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	ゆいの森子どもひろば運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	田上			
		担当者名	榊	内線	2256			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（元年度）	01-05-01	ゆいの森子どもひろば運営費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 元年度 <input type="checkbox"/> 30年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和	29 年度	根拠	一時預かり実施要綱				
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	子どもたちが多様な体験や学びによって、将来の夢を育む支援を行う。また、孤立しがちな親子や小中学生の安全な居場所を提供する。							
対象者等	主に中学生以下の生徒、児童、乳幼児とその保護者							
内容	<p>【乳幼児（主に遊びラウンジ）】 絵本館との融合を図りながら、雨の日でも遊べる成長に合わせた室内遊具を設置。保育士の見守りにより、簡単な育児相談も実施。</p> <p>【児童、生徒（主に学びラウンジ）】 体験キットや理科実験等のワークショップを実施する他、放課後の安全で自由な居場所を提供。</p> <p>【一時預り（業務委託）】 区内在住の未就学児を対象に、開館日に1クール2時間の一時預り（千円／1クール）を実施。各月7クールまで利用可能。</p>							
経過	<p>平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定 平成28年 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 体験キット、体験ワゴン、星空学習ソフト、デジタル地球儀など小中学生を対象とした体験事業を開発 平成29年 3月26日 開館 平成29年度 科学実験ショー実施、遊びタイム実施（毎週金曜日）、子育て講座実施（毎月第4金曜日）、区立小学校4年生校外学習「あらかわ未来・体験学習」受入、子ども星空学習実施、子ども向けアニメ映画上映会実施 等 平成30年度 科学実験ショー実施、遊びタイム実施（毎週金曜日午前・午後）、子育て講座実施（全4回）、区立小学校4年生校外学習「体験学習」、区立小学校2年生生活科受け入れ、なかよしタイム実施（全2回）、子ども星空学習（星空朗読）、各種体験型ワークショップ実施</p>							
必要性	子どもたちの安全な居場所や自主的な学びの場を提供するとともに、子育て世代のコミュニティの場として活用されており、必要性は高い。							
実施方法	<p>（<input type="checkbox"/> 一部委託） （直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員）</p> <p>一時預りについては業務委託を行うが、その他は専門の非常勤等で来館する対象に合わせた事業を展開する。</p>							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			28年度	29年度	30年度	元年度見込み		目標値(8年度)
	①	遊びラウンジ利用者数（子どものみ）		39,847	34,620	35,000	39,000	
	②	体験キット貸出件数		15,262	10,811	11,000	27,000	
③	ワークショップ等参加者数		2,925	6,099	6,000	6,100	ワークショップ、校外学習の参加者	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
元年度	2年度							
重点的に推進	重点的に推進	就学前の親子や小中学生の安全な居場所として遊び・学びラウンジの充実を図っていくとともに、未来を担う子どもたちに様々な体験を提供し、将来へ夢を育む場となるよう、積極的に事業を進めていく。						

予算・決算額等の推移	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	
予算額			-	-	26,634	21,427	21,919	
決算額(元年度は見込み)			-	-	21,316	19,226	21,919	
実績の推移	事項名(元年度は見込み)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
	一時預り者数(延べ人数)					2,557	3,019	3,042
	体験キット等保有数(種類)					17	21	25
	校外学習等参加者数(延べ人数)					1,451	1,486	1,445

予算・決算の内訳								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
賃金	保育臨時職員	380	賃金	臨時職員賃金	248	報償費	講師謝礼	362
報償費	講師謝礼	154	報償費	講師謝礼	160	需用費	消耗品費等	993
需用費	消耗品費等	1,571	需用費	消耗品費等	870	役務費	体験型展示通信料	76
委託料	乳幼児一時預かり業務委託等	17,631	役務費	体験型展示通信料	65	委託料	乳幼児一時預かり業務委託等	20,488
償還金利息等	補助金返還金	1,580	委託料	乳幼児一時預かり業務委託等	17,879			
			使用料及び賃借料	博物館入館料	4			

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	29年度	30年度	差額	29年度		30年度	差額		
	給与関係費	22,245	14,089	▲ 8,156	地方税	0	0	0	
	物件費	19,582	19,067	▲ 515	国庫支出金	3,266	3,320	54	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	3,266	3,320	54	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	1,734	160	▲ 1,574	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	2,396	2,846	450	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	8,928	9,486	558	
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,696	2,244	▲ 4,452	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 41,329	▲ 26,074	15,255	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	50,257	35,560	▲ 14,697	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 41,329	▲ 26,074	15,255	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 41,329	▲ 26,074	15,255	

備考 行政費用はとして、補助費等が減少したが、これは、29年度に子ども・子育て支援交付金の返還金があったが、30年度はなかったためである。行政収入は子ども・子育て支援交付金が6,640千円、乳幼児一時預かり利用料が2,846千円である。

- 問題点・課題
- ・利用者を飽きさせないよう、魅力ある遊具の定期的な入れ替えに向けて検討を行う必要がある。また、おもちゃの破損・紛失が多いため、大切に使うよう利用者に働きかける必要がある。
  - ・子どもたちの学びや体験の機会をさらに提供するため、幅広い分野で体験キットを充実させるとともに、ワークショップ等の実施回数の増加に向けて検討を行う必要がある。
  - ・一時預かりについて、利用者を増やす取り組みが必要である。

問題点・課題の改善策

	平成30年度に取り組む具体的な改善内容	平成30年度に実施した改善内容および評価	令和元年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	おもちゃの利用方法や、利用者への声かけの仕方を検討する。	新規購入したおもちゃの一部を貸し出し制で提供したことにより、耐久性が向上した。	今後も安全に配慮した遊具を充実させるとともに、親子で楽しく参加できる講座を検討する。
②	多様な体験できるよう、多様な分野の体験キットを追加するとともに、様々なイベントを企画する。	体験キット4種類の追加及び体験型ワークショップの充実を図った。また、ワークショップにおいては、関連図書の紹介を行った。	体験キットの利用を通して、興味を持った分野の読書推進に繋がるよう、関連図書情報の提供を検討する。
③	一時預かり中の乳幼児が安心して、楽しく滞在できる環境づくりを行う。	入口への柵の設置、家具等の安全対策を実施し、託児室内の環境改善を行った。	一時預かりについて、午前中や閑散期の利用者増に繋がる取り組みを様々な角度から検討する。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
	遊びラウンジは、国の事業である「地域子育て支援拠点事業」に基づき実施している。

議会(要旨)質問状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度 決特 乳幼児一時預かりについて</li> <li>・平成30年度 予特 乳幼児一時預かりについて</li> </ul>
-----------	--

# 事務事業分析シート（令和元年度）

No1

事務事業コード	05-04-04	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	中央図書館運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	小林			
		担当者名	安井	内線	2256			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（元年度）	01-04-01	中央図書館運営費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 元年度 <input type="radio"/> 30年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	28年度	根拠	図書館法、荒川区立ゆいの森あらかわ条例、				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等	荒川区立図書館条例、荒川区立図書館館則				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進					
目的	図書資料や図書館オンラインシステムを充実させ、関係機関と協力して読書活動に親しむ多様な事業展開を行うことによって、子どもたちの読書環境の向上や区民の読書活動を推進し、利用者全体の課題解決や生涯学習を支援する。							
対象者等	図書館利用者、その他図書館等関係機関							
内容	<p>○多様化するニーズに応え、課題解決を支援できるよう、より専門的な資料から一般的な資料まで購入し誰でも利用しやすい環境を整え提供する。</p> <p>○30万冊規模の開架の書架等を活用した、特集コーナー等の設置やイベントでの関連図書資料の展示など、図書資料の積極的な提供を行う。</p> <p>○大規模な蔵書を効率的かつ効果的に管理し、良質なサービスを提供する。</p> <p>○絵本館、現代俳句センターなど、特徴となる資料の収集・提供を行う。特に、俳句資料については、現代俳句協会との協定に基づき、関係部署と連携しながら事業を進める。</p> <p>○「読書を愛するまち・あらかわ」宣言に基づき、地域図書館、学校図書館、街なか図書館が連携し、本が身近にあるまちづくりを進める。</p> <p>【蔵書規模】 開架30万冊、閉架30万冊</p> <p>【資料】 書籍 AV 雑誌 新聞紙</p>							
経過	<p>昭和37年 3月 荒川図書館開館</p> <p>平成5年10月 図書館オンラインシステム稼働</p> <p>平成10年 5月 南千住図書館開館</p> <p>平成18年 4月 「これからの図書館調査懇談会報告書」、「荒川区子ども読書活動推進計画」策定</p> <p>平成19年 3月 図書資料収集基準として、荒川区立図書館資料収集要綱を制定</p> <p>平成20年 7月 第1回柳田邦男絵本大賞を創設、「特色ある図書館づくり」を目指し、分担収集開始</p> <p>平成23年10月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第二次）」策定</p> <p>平成28年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第三次）」策定、12月 荒川図書館閉館</p> <p>平成29年 2月 新図書館オンラインシステムへ変更</p> <p>3月 中央図書館開館</p> <p>平成30年 5月 「読書を愛するまち・あらかわ」宣言</p>							
必要性	多様化するニーズと課題に対応し、区民の読書活動及び生涯学習等、生涯に渡り学ぶことによって、自ら課題を解決することができる環境づくりに必要な事業である。							
実施方法	<p>（<input type="radio"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）</p> <p>図書館オンラインシステム機器保守委託、図書装備委託など</p>							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			28年度	29年度	30年度	元年度見込み		目標値(8年度)
	①	区民1人当たりの蔵書冊数(点)	4.01	4.22	4.33	4.4	4.8	(全館) 蔵書点数÷住基人口
	②	区民1人当たり個人総貸出点数(点)	8.25	9.64	9.73	9.8	10.0	(全館) 貸出点数÷住基人口
③	個人登録者数(人)		80,495	91,743	105,200	130,000	(全館) 4月1日現在	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
元年度	2年度							
推進	重点的に推進	「読書を愛するまち・あらかわ」の実現に向け、図書館サービスについて周知し、活用してもらう必要があるため、重点的に推進する。						



予算・決算額等の推移	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
予算額			-	-	136,150	135,861	143,430
決算額(元年度は見込み)			-	-	123,564	130,022	143,430
実績の推移	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
事項名(元年度は見込み)							
入館者数(人)※中央館のみ				15,991	690,094	707,295	721,000
個人総貸出点数(点)※				15,115	764,205	764,510	765,000
特集コーナー設置数(回)※				7	73	166	166
おはなし会開催回数(回)※				0	69	71	71

予算・決算の内訳							
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項
賃金	臨時職員賃金	6,898	賃金	臨時職員賃金	5,907	賃金	臨時職員賃金
報償費	各種講座講師謝礼	1,172	報償費	各種講座講師謝礼	1,347	報償費	各種講座講師謝礼
需用費	図書資料購入費等	49,280	需用費	図書資料購入費等	45,656	需用費	図書資料購入費等
役務費	配本車運行料等	13,022	役務費	配本車運行料等	13,026	役務費	配本車運行料等
委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	23,174	委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	35,891	委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等
使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	27,470	使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	27,007	使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器賃借料等
備品購入費	備品購入費	2,447	備品購入費	備品購入費	230	備品購入費	備品購入費
							634

行政コスト計算書	勘定科目	29年度	30年度	差額	勘定科目	29年度	30年度	差額
	給与関係費	80,430	78,990	▲ 1,440	地方税	0	0	0
	物件費	122,290	128,538	6,248	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,274	1,484	210	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	544	0	▲ 544
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	544	0	▲ 544
	賞与・退職給与引当金繰入額	24,211	12,579	▲ 11,632	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 227,661	▲ 221,591	6,070
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	228,205	221,591	▲ 6,614	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 227,661	▲ 221,591	6,070
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 227,661	▲ 221,591	6,070

備考 行政費用では、物件費が前年度に比べ増額したが、これは、委託料のうち、システム改修費用・デジタル化作業委託に新たにコストがかかったためである。行政収入の減少は事業の組替により、コピー利用料が中央図書館運営費から事務管理費に移行したためである。

- 問題点・課題
- ・多様化するニーズを的確に把握し、充実した図書館サービスを提供する必要がある。
  - ・中央館と地域館との適切な役割分担を図り、各々特色ある図書館を運営していく必要がある。
  - ・館外視察や企画運営力向上のための研修の実施など、職員の能力向上を図っていく必要がある。
  - ・図書館におけるボランティア活動のさらなる充実を図っていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	平成30年度に取り組む具体的な改善内容	平成30年度に実施した改善内容および評価	令和元年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	図書館における特色のあるサービスや俳句資料収集など内容について検討し、より多くの方の利用に繋がる施設づくりを進める。	各図書館から担当者が集まり合同で選書会を行うなど、館ごとに特色のある図書館づくりを進めるとともに、蔵書の更なる充実に努めた。	「読書を愛するまち・あらかわ」宣言に基づき、イベント等様々な事業を行うことで、より一層の読書活動の推進を図る。
②	フロア装飾に加え、開架書架等を活用した特集コーナーの設置や他部署と連携したイベント関連資料の展示を行う。	季節に応じた館内の飾り付けを施すとともに、イベントとコラボした本の特集を組むなど、来館者の増加に努めた。	利用者に分かりやすい案内表示を行うほか、オリ・パラの開催を踏まえ、関連の展示や本の紹介など気運を醸成する。
③	職員の能力向上のための研修を実施するとともに、本の修理等の養成講座を開催し、図書館に携わるボランティア活動の枠を広げる。	レファレンスサービス、接客向上の研修を実施したほか、読み聞かせや音訳等ボランティア養成講座を実施した。	本の修理や配架など図書館業務における幅広いボランティア養成講座を開催し、地域と連携して住民参加を促進していく。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
	中央図書館については全区が設置し、子ども読書推進計画の策定、図書館オンラインシステムが導入されている。

- 議会(要旨)質問状
- ・平成29年度 決特 図書館システムについて
  - ・平成29年度 決特 図書館通帳について
  - ・平成30年度 11月会議 読書を愛するまち・あらかわの取組の推進について
  - ・平成30年度 9月会議 ゆいの森あらかわのさらなる事業の充実について
  - ・平成30年度 予特 ビジネス相談・地域資料・人気本(予約多数本)の寄贈について



# 事務事業分析シート（令和元年度）

No1

事務事業コード	05-04-05	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事	
事務事業名	吉村昭記念文学館推進事業運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	小林		
		担当者名	田邊	内線	2256		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（元年度）	01-06-01	吉村昭記念文学館運営費					
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 元年度 <input type="checkbox"/> 30年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和 18 年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例				
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	郷土を代表する作家・吉村昭氏及び吉村氏に関連のある作家に関する資料の収集、研究等を行うとともに、同氏の作品等を基盤とした幅広い文化活動を展開することにより、区民の心を育み、区の文化振興に寄与する。						
対象者等	区民等						
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○吉村氏に関する資料の収集、整理、保管及びその研究</li> <li>○企画展示の計画、展示物の製作などの展示活動</li> <li>○講演会や吉村氏・津村氏とゆかりのある地との連携等を通じた、吉村氏と同氏の作品の普及啓発</li> <li>○文学館が地域文化の醸成に貢献できるよう友の会の運営</li> <li>○ホームページ等での広報</li> </ul> <p>文学館エリア：約540㎡（ゆいの森あらかわ2階・3階の一部、復元書斎を含む） 入館料：無料</p>						
経過	<p>平成 4年5月 吉村昭氏区民栄誉賞受賞 区役所1階で作品展開催 日暮里図書館吉村昭コーナー設置                  平成18年7月31日 吉村昭氏逝去                  平成19年～26年度 企画展、講演会等を実施                  平成27年3月 吉村昭記念文学館友の会設立                  平成29年3月26日 吉村昭記念文学館開館・開館記念企画展開催（7月まで）                  7月 日本文藝家協会共催シンポジウム 10月 第2回企画展開催（12月まで）                  11月 5日 おしどり文学館協定締結式、3月17日 落語会（学習院大学落語研究会）                  平成30年6月 瀬尾まなほ氏講演会、10月企画展（～12月）、11月おしどり文学館協定1周年講演会、朗読会                  平成31年3月 落語会</p>						
必要性	吉村氏の功績を後世に伝えるとともに、吉村作品を通してさらに広範な文学の世界に触れる機会を広く区民に向けて提供することで、区における文化の醸成や区のPRにも寄与することから、必要性は非常に高い。						
実施方法	（ <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> ） （直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員） 文学館の運営に当たっては、学芸員の資格を有する専門の非常勤職員を採用して実施するとともに、専門家の御意見も伺いながら進める。展示製作業務、デジタル写真撮影業務等を委託						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		28年度	29年度	30年度	元年度見込み	目標値(8年度)	
	① 文学館来館者数（人）			39,638	60,000	70,000	平成30年8月1日より集計開始
	② 事業の参加人数（人）	506	683	678	700	800	イベントや講演会等の参加者人数
③ 文学館友の会会員数（人）	735	404	359	400	650	吉村氏の功績や作品を広く周知するための指標	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
元年度	2年度						
重点的に推進	重点的に推進	企画展の開催や友の会の運営を通して吉村文学を生んだ荒川区の魅力を区内外に広く発信するとともに、地域文化の醸成を図る事業であるため、重点的に推進する。					

予算・決算額等の推移		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
予算額				-	-	24,263	23,438	23,113
決算額(元年度は見込み)				-	-	15,780	16,087	23,113
実績の推移		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
事項名(元年度は見込み)								
文学館来館者数(人)		-	-	-	-	-	39,638	60,000
事業の参加者人数(人)		79	160	235	506	683	678	700
文学館友の会会員数(人)		-	200	350	735	404	359	400
予算・決算の内訳								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	常設展示解説図録監修謝礼	466	報償費	図録監修等謝礼、講師謝礼	824	報償費	企画展講演会謝礼	1,010
需用費	資料保存容器購入、印刷製本	6,760	需用費	資料購入、印刷製本	1,915	需用費	資料購入、印刷製本	2,492
役務費	展示資料等運搬費	2,082	役務費	展示資料等運搬費	3,447	役務費	展示資料等運搬費	4,283
委託料	展示製作委託	5,847	委託料	企画展展示製作物等	8,767	委託料	企画展展示製作物等	13,270
使用料及び賃借料	著作権使用料	391	使用料	著作権使用料	779	使用料	著作権使用料	1,258
備品購入費	自筆原稿等購入費	194	備品購入費	運営用備品購入	82	備品購入費	自筆原稿等購入費	519
負担金及び交付金	研修受講料	40	賃金等	臨時職員賃金、研修受講費	233	賃金等	臨時職員賃金、研修受講費	281

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	29年度	30年度	差額	29年度		30年度	差額		
行政費用	給与関係費	18,769	18,785	16	地方税	0	0	0	
	物件費	15,211	15,086	▲125	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	569	1,001	432	使用料及び手数料	1	0	▲1	
	減価償却費	0	0	0	その他	1,564	1,029	▲535	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,565	1,029	▲536	
	賞与・退職給与引当金繰入額	5,650	2,992	▲2,658	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲38,634	▲36,835	1,799	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	40,199	37,864	▲2,335	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲38,634	▲36,835	1,799	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲38,634	▲36,835	1,799		

備考

行政費用については、賞与・退職給与引当金繰入額が減少した。行政収入については、指定寄付金の収入が減少した。

問題点・課題

・ホームページや刊行物等において、イベントや展示報告及び吉村文学に関する情報を、区内外へ積極的に発信する必要がある。  
 ・福井県ふるさと文学館との連携の充実を図るとともに、吉村氏や津村氏とゆかりのある全国各地との連携等も見据えた事業の展開を行う。  
 ・展示及び展示室を使用したイベント(展示解説等)の充実に努め、吉村文学の更なる普及啓発を図る。  
 ・友の会会員サービスの充実を図り、新規会員の獲得や継続会員を増やすための工夫をする。

## 問題点・課題の改善策

	平成30年度に取り組む具体的な改善内容	平成30年度に実施した改善内容および評価	令和元年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	文学館の現状を把握するため、人数カウンターの設置を検討する。	常設展示室に人数カウンターを設置し、年間を通じた文学館の来館者数の実態把握を行なった。	実態の分析を進めるとともに、展示等の更なる充実や積極的な情報発信に取組み、来館者の増加を図る。
②	他館における友の会の運営方法を参考に、入会や更新手続きの簡便化について検討する。	主に遠方の入会希望者への案内に会費の納入場所を記載することで、手続きの利便性を図った。	納付方法や会員サービスの見直しと充実を図る共に、新規会員獲得のためのPR方法を検討し、会員数増に努める。
③	ホームページ等を活用し、積極的に情報発信を進めていく。協定を締結した福井県ふるさと文学館との連携展示等の充実を図る。	ホームページ及び広報紙を活用し情報発信を進めた。おしどり協定関連事業や、吉村関連の著名人を招いて講演会や朗読会を開催した。	吉村氏や吉村作品に更に関心を高めてもらえるよう、多様なテーマのイベント企画や、ホームページでの情報発信の充実を図る。

他区の実況	(実施 9 区 未実施 13 区 不明 0 区)
文学館設置区	港区、新宿区、文京区、台東区、大田区、世田谷区、渋谷区、北区、練馬区

議会議決(要旨)	状況
・平成18年 三定 記念館の設置要望について ・平成23年 四定 文学館開館に向けた事前周知について ・平成26年度 予特 友の会の設立について ・平成27年度 予特 文学館の開館後のイベントについて ・平成29年度 決特 文学館の周知、友の会、上映会について	